

(仮称)安芸太田町かわまちづくり協議会設立総会 次第

日時：令和8年2月19日(木) 10:00～

場所：安芸太田町役場東館 大集会室

1. 開 会

2. 議事

(1) かわまちづくりの概要について

(2) 規約の制定について

(3) 協議会役員を選出について

(4) 現在の検討状況について

3. その他

4. 閉 会

〈配布資料〉

出席者名簿

協議会規約(案)

意見聴取シート

資料1 かわまちづくりの概要について

資料2 太田川中上流部(温井ダム～津浪)かわまちづくり現在の検討状況について

参考資料 令和8年度温井ダム放流記者発表

【(仮称)安芸太田町かわまちづくり協議会設立総会 出席者名簿】

役職	団体等	役職	氏名	備考
	温井ネットワーク協議会	会長	佐々木 克己	
	(一社) NUKUI OUTDOOR FIELD	代表理事	福田 真弓	
	津浪振興会	会長	末田 健治	
	ぷらっとホームつなみ		栗栖 開記	代理
	太田川上流漁業協同組合	代表理事組合長	岡田 重男	
	安芸太田町 PTA 連合会	会長	藤井 将和	
	安芸太田町商工会	事務局長	末國 浩二	
	(一社) 地域商社あきおおた	事業本部長	寶珠 真一	
	安芸太田町 道の駅推進チーム	担当課長	瀬川 善博	
事務局	安芸太田町	参事	宇田 康弘	
	安芸太田町	参事	下村 佳世	
	安芸太田町 道の駅推進チーム	主任	久保 千晶	
	安芸太田町 道の駅推進チーム	主任主事	大前 龍太	
	国土交通省中国地方整備局 太田川河川事務所			アドバイザー
	国土交通省中国地方整備局 温井ダム管理所			アドバイザー

かわまちづくりの概要について

太田川河川事務所

令和8年2月19日



国土を**整**え、全力で**備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

1. かわまちづくりの概要について

(1) 制度の内容

かわまちづくりとは、河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取り組みです。

かわまちづくり登録件数:303箇所 ※令和7年8月時点

“かわづくり”と“まちづくり”が一体となった 良好な水辺空間の形成

使いきれていない地域資源(魅力)

⇒歴史・文化・景色・水辺
・高水敷・堤防 など

連携

既存の事業・イベント

⇒まちづくり、健康づくり など

地域住民(市民・団体)の
新しい発想

川を日常的に楽しめる『場』に変化させ、交流の拠点に
そして、魅力的な『まち』へ

1. かわまちづくりの概要について

(1) 制度の内容

市町村等からの申請にもとづき計画の登録を行い、河川管理者(国土交通省等)では親水護岸などのハード整備のほか、河川空間へのオープンカフェの設置をはじめとした、地域のニーズに応じて河川空間の多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定を行うなどのソフト対策の支援を実施します。

【河川管理者(国土交通省等)の支援内容】

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川/大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川/広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(信濃川/新潟市)



賑わい拠点の整備
(木曾川/美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(最上川/長井市)



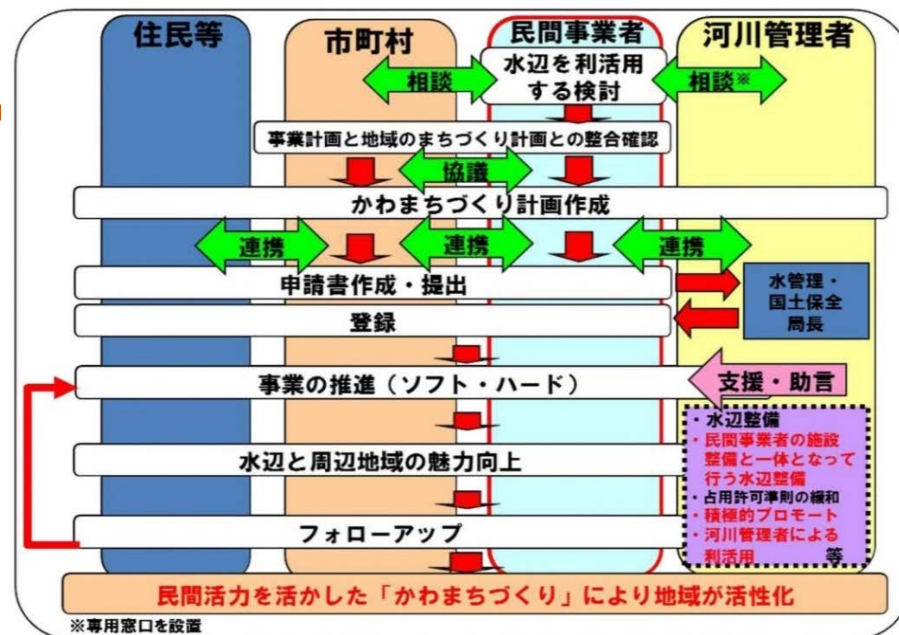
親水護岸の利用
(新町川/徳島市)

1. かわまちづくりの概要について

(2) 役割分担

かわまちづくりの登録に向けては、利活用の中心となる地域の方々が主体となり計画の内容(利活用や整備のニーズや方向性等)を検討し、市町村が申請書を提出することが必要です。

登録後は、官・民が連携して場の整備を行い、利活用、維持管理等を行っていきます。



役割分担(イメージ)

	住民等	推進主体 (市町村)	河川管理者 (国土交通省)
計画策定	・ 利活用や整備のニーズ、方向性	・ 他計画との整合 (景観、都市計画等) ・ 市長名でかわまち申請	・ 河川整備計画との整合 ・ かわまち申請補助 (助言)
利活用	・ 継続的な利活用の実践	・ 住民等協働による利活用 の実践のサポート	・ ソフト対策支援 (都市・地域再生等利用区域の指定等)
整備	—	・ 上物整備 (トイレ、ベンチ、植樹等)	・ 基盤整備 (河川敷の整正、散策路、階段等)
維持管理	・ 利活用と併せた維持管理 (清掃、草刈り等)	・ 定期的な維持管理 (施設の補修、除草等)	・ 河川管理上の維持管理 (護岸補修等)、出水後の土砂撤去等

住民等

- ・ クリーン作戦等のイベント開催
- ・ 除草、清掃 (日常利用箇所) 地域の清掃活動等での清掃、除草



クリーン作戦による清掃



地域住民による清掃、除草

推進主体 (市町村)

- ・ 整備箇所の占用 → 維持管理の委託
- ・ 利用施設、新規整備施設の点検、維持修繕
- ・ 日常の土砂撤去、除草、清掃 等
- ・ 小規模な塵芥、土砂撤去

例) 樹木の手入れ
整備した階段や遊歩道の点検、補修
高水敷の除草、清掃
出水後の塵芥処理や土砂撤去等



樹木の手入れ



高水敷の除草

河川管理者 (国土交通省)

- ・ 河川管理施設の点検、維持修繕
- ・ 占用範囲外での維持管理
- ・ 大規模出水等による災害復旧
- ・ 大規模な塵芥、土砂撤去

例) 堤防や護岸の点検、補修
河道内の堆積土砂撤去、法面除草
堤防、護岸等被災した場合の復旧
出水後の塵芥処理や土砂撤去等



大規模な塵芥、土砂撤去



堤防、護岸等の災害復旧

← 連携、協力 → ← 連携、協力 →

1. かわまちづくりの概要について

(3) かわまちづくり支援制度の活用事例 【①ダムを拠点とした環境整備と周辺地域との連携】

〈渡川水系中筋川(高知県宿毛市、四万十市、三原村)〉 ※R6年度登録

中筋川ダム周辺の設備の利便性向上に向けた再整備、横瀬川ダム周辺の建設時の設備の活用、アクティビティ活用促進に向けた基盤整備の実施を予定。整備施設を活用したイベント等を開催し、ダムを拠点とした地域の賑わいを創出をめざす。



中筋川ダム 現状



中筋川ダム 整備後 (イメージ)



アユのつかみ取り体験



蛸湖まつりでのカーナー・SAP体験



蛸湖まつりでのキッチンカーの出店



蛸湖まつりでの体験型ダム見学

1. かわまちづくりの概要について

(3) かわまちづくり支援制度の活用事例 【②レクリエーション・自然体験の拠点整備】

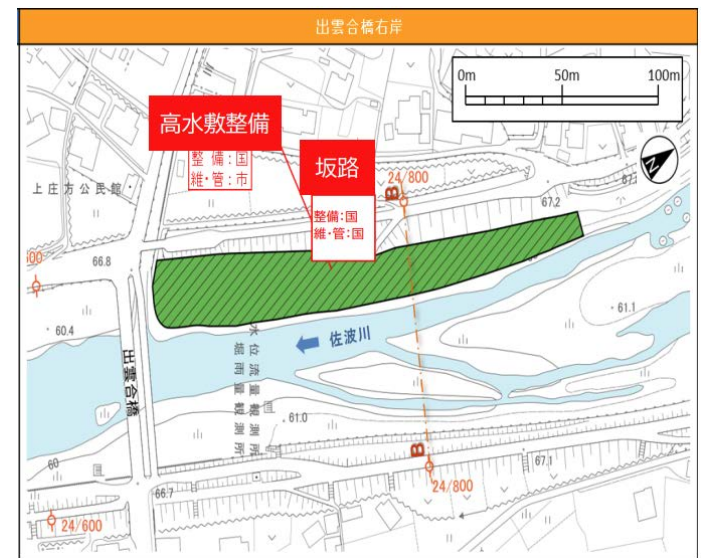
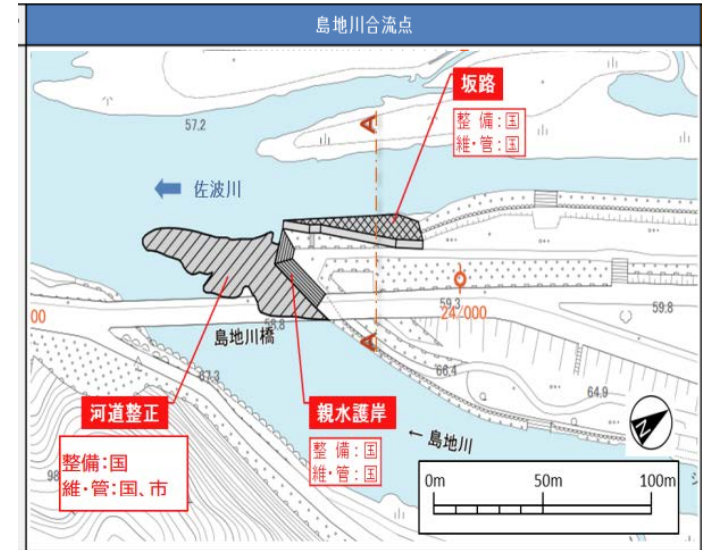
（佐波川水系佐波川(山口県山口市)）※R6年度登録

河川管理者が、親水護岸、坂路および散策路、高水敷にイベントスペースの整備を支援。

市が、駐車場の拡充、既存公園再整備、トイレ施設整備を行い、レクリエーション(日常・イベント利用等)の拠点や地域活動・自然体験の拠点として活用予定。

かわまちづくりの目標と取組内容

全体エリア：周遊遊歩道整備、(ウォーキングコース整備：目印設置等) 中心拠点エリア整備：(交流広場整備：堀コミュニティ公園再整備)			
ブロック	島地川合流点ブロック	出雲合橋右岸ブロック	
目標	■レクリエーション(日常・イベント利用等)の拠点 島地川合流上流部の左岸付近には親水護岸・親水広場・自転車道が整備されており、地域住民の憩いの場となっている。一方で、佐波川の流速が早いため、水辺利用はやや困難になっている。そこで、日常の散策や休息の拠点、安全に水辺・水面利用等のレクリエーションができる拠点として整備し、日常及びイベント時の水辺利用の促進を図る。	■地域活動・自然体験の拠点 出雲合橋上流右岸部はやや幅は狭いが高水敷があり、高水敷にアプローチできる坂路もある。また、周辺は住宅地であり、花火大会の開催場所に近い場所に位置している。その上、上流はホテル観賞の場となっており、豊かな自然環境も有している。そこで、イベント等の地域活動や自然体験の拠点として整備し環境意識の醸成や地域の活性化を図る。	
課題解決に向けた取組	①地域資源を活かした利活用への創出(各種イベント、レジャー、森林セラピー、ホテル観賞、釣り、特産品等)	・親水広場の利活用 ・親水護岸の整備(流速の緩やかな島地川合流部)	・周辺のイベントとの連携 ・豊かな自然環境の活用
	②日常の河川利用の活性化	・水辺の散策の場の創出(魅力アップ)	・水辺の散策の場の創出
	③地域活性化のためのイベントの創出・開催(バーベキュー、フリーマーケット、マルシェ等)	・ウォーキングやサイクリングイベントの創出 ・カヌー等の体験教室、スポーツイベントの開催 ・高水敷の駐車場の拡充	・フリーマーケットの開催(既存イベントの誘致) ・マルシェ等のイベントの創出 ・ホテル観賞会等の開催
	④水辺の整備(親水の場、環境学習の場等)	・河道整正による親水の場(水辺・水面遊び)、環境学習の場の創出	・親水の場(水辺遊び)、環境学習の場の創出
	⑤安全に水辺に近づくアプローチの整備	・親水護岸、坂路の整備、河道整正	・坂路・高水敷の整備
	⑥イベント時の利便性の向上(イベントスペース、花火大会時の駐車スペース、トイレの確保等)	・親水護岸、坂路の整備 ・水遊びスペースの創出 ・トイレ施設の整備	・イベントスペースの創出 ・坂路・高水敷の整備



水遊び場所の整備イメージ



サイクリングイベントのイメージ

1. かわまちづくりの概要について

(3) かわまちづくり支援制度の活用事例 【③回遊性向上による水辺利用の活性化】

〈吉井川水系吉井川(岡山県和気郡和気町)〉 ※H29年度登録

国による基盤整備(法面、親水護岸等)と、町による駐車場、トイレ、広場の整備により、水辺利用者が増加。サイクリングやウォーキングのほか、生物観察会やカヌーツアーが実施されている。

食事処を含む広場は市が占用し、使用契約によって食事処の事業者が管理を行っている。日常的な清掃等は地元団体、地元住民により実施。



事業実施の効果



1. かわまちづくりの概要について

(4) 申請のポイント

「かわまちづくり計画」を申請した際、以下のポイントで国土交通省 水管理・国土保全局により審査されます。

【審査項目(実施要項)】

- ・実施の**効果**
- ・市町村、民間事業者及び地域住民の**熱意の高さ**
- ・**実現可能性**(関係者の役割分担と実施体制の確保等)

実施の効果

：地域活性化に資すること

- ・自治体のまちづくりの方針との合致
- ・評価指標と目標の設定

熱意の高さ

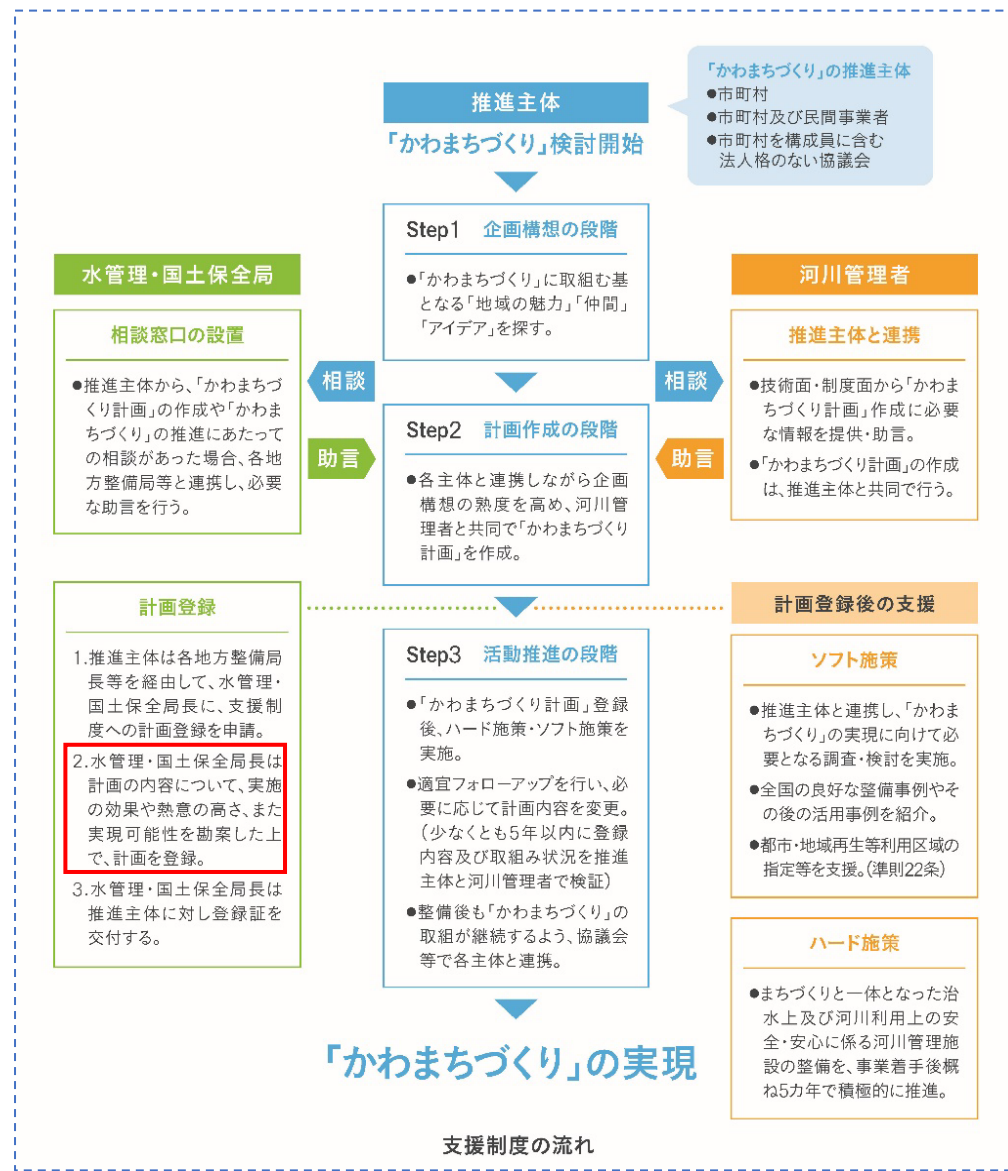
：地域の熱意を示すこと

- ・協議会等の開催
- ・社会実験の実施
- ・キーパーソン

実現可能性

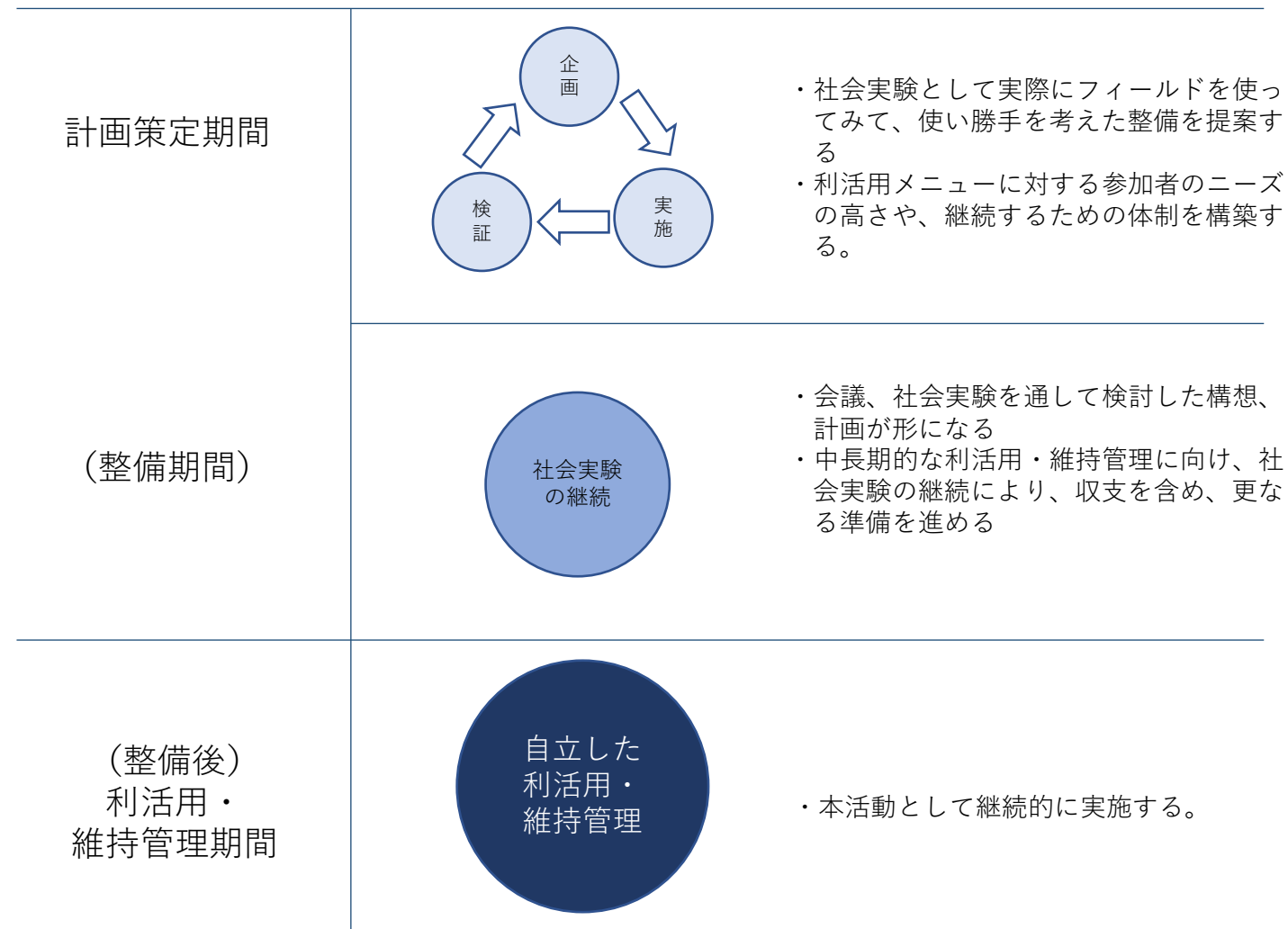
：実施段階の役割分担

- ・計画段階の推進体制(協議会等の設立)
- ・実施段階の推進体制(利活用の体制、安全管理の体制)
- ・維持管理の役割分担



【参考】“社会実験”とは

- 社会実験とは一般に、新たな制度や技術などの施策を導入する際、場所と期間を限定して試行することで有効性の検証や問題の把握を行うものです。
- 計画策定期間では、社会実験により実際にフィールドを使ってみて、使い勝手を考えた整備を提案したり、検討した利活用メニューのニーズの高さなどを確認したりします。かわまちづくりの登録の要件となる、【実施の効果】（整備した場合、利活用する人はいるか）、【熱意の高さ】（地域に思いがあるか）、【実現の可能性】（利活用や維持管理の体制はあるか）を示す材料にもなります。
- 整備期間も社会実験を行い、詳細設計へ反映したり、今後の利活用・維持管理に向けた準備を進めます。



【参考】組織体制について

かわまちづくりでは、公平性の確保や合意のための組織が必要となります(承認組織)。

また、具体的な検討を行うため、実際に利活用や維持管理をしている団体等からなる組織が有効となります(実践組織)。

1 計画検討体制の構築

○市町村向け

○河川管理者向け

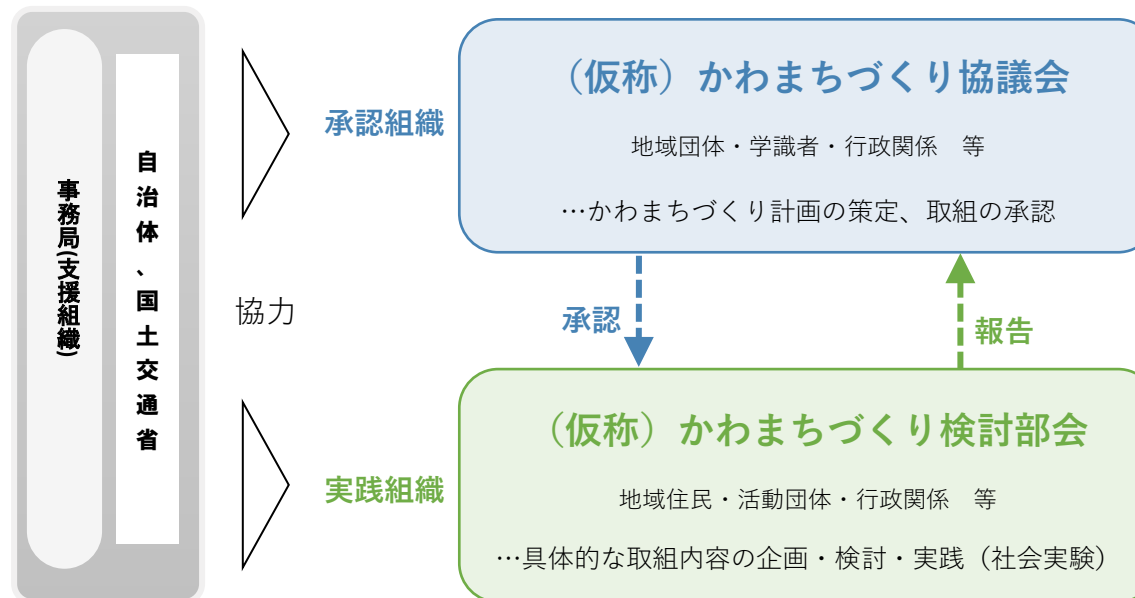
かわまちづくりの熟度を高めるにつれ、公平性の確保や地域の合意といった事項について、総合的に連絡・調整する役割を担う体制が必要となります。既存のほとんどの事例で「協議会」や「検討会」といった協議の場が設けられています。

協議会の構成としては、市町村が事務局、自治会や商店街などの地域住民や民間事業者、まちづくりや河川の専門知識を有する有識者、河川管理者という事

例が多いですが、役職でメンバーを選ぶだけでなく、企画構想の段階でつながりができた意欲や想いの強いメンバーに参加してもらうことが有効です。

また、複数の地区が分散している、テーマが複数に渡るなどといった場合は、検討部会やワーキングという形で、比較的少人数の実務者やキーパーソンで議論を積み上げる方法もあります。

「かわまちづくり計画策定の手引き」



安芸太田町かわまちづくり協議会規約（案）

（名 称）

第1条 本会は、「安芸太田町かわまちづくり協議会」（以下「協議会」という）と称する。

（目 的）

第2条 協議会は、太田川の更なる魅力向上を図り、地域活性化に繋げることを目的とした「かわまちづくり計画」（以下「計画」という。）の策定に必要な事項を検討することを目的とする。

（事 業）

第3条 協議会は、次に掲げる項目について協議を行う。

- （1）計画及び計画の推進にかかる具体的な施策の立案に関すること。
- （2）施策の実施状況の評価、計画の点検及び見直しに関すること。
- （3）その他かわまちづくりの推進に関すること。

（組 織）

第4条 協議会は、別表に定める団体よりそれぞれ1名を選出された者（以下「委員」という。）により組織する。ただし、協議会の中で了解を得た上で、運用上必要な委員の追加及び変更ができるものとする。

2 協議会にアドバイザーを置くものとし、アドバイザーは国土交通省太田川河川事務所及び温井ダム管理所とする。

（会長及び副会長）

第5条 協議会に、会長及び副会長各1名を置き、それぞれ委員の互選により、定める。

- 2 会長は、会務を総括し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（任 期）

第6条 委員の任期は、第3条に規定する事業が完了するまでとする。

（会 議）

第7条 協議会の会議は、会長がし、会務を進行する。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の出席を求めることができる。
- 3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

（ワーキンググループ）

第8条 会長は、協議会の事務を処理するにあたり、必要な事項を検討するため、ワ

ーキンググループ（以下「検討会」という。）を設置することができる。

- 2 検討会の所掌事務は、計画に関する構想の立案及び施策の推進検討とする。
- 3 検討会の委員は、会長が計画の推進に資する団体等から候補者を選出する。なお、委員は、協議会の委員との兼務を妨げない。
- 4 検討会は、会長が必要に応じて招集する。

（事務局）

第9条 協議会の事務を処理するため、安芸太田町道の駅推進チームに事務局を置く。

（その他）

第10条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この規約は、令和 8年 月 日から施行する。

○安芸太田町かわまちづくり協議会 構成員

温井ネットワーク協議会	会長	
(一社) NUKUI OUTDOOR FIELD	代表理事	
津浪振興会	会長	
ぷらっとホームつなみ	店長	
太田川上流漁業協同組合	代表理事組合長	
安芸太田町 PTA 連合会	会長	
安芸太田町商工会	事務局長	
(一社) 地域商社あきおおた	事業本部長	
安芸太田町	道の駅推進チーム 担当課長	

太田川中上流部（温井ダム～津浪） かわまちづくり

現在の検討状況について

安芸太田町

令和8年2月19日

自治体（安芸太田町）の方針

・第3次安芸太田町長期総合計画「安芸太田町総合ビジョン」（策定：令和7年3月、計画期間：令和7年度～令和14年度）では、太田川を町の“強み”として、自然環境を守り、自然を活かした観光の推進や担い手育成に取り組むこととしている。

3 めざす姿と重点方針

(1) 基本方針

安芸太田町のめざす将来像を次のとおり定めます。

太田川とともに、暮らし、学び、
未来に向けて一人一人が活躍するまち



安芸太田町の強みでもあり、町名の由来でもある太田川を中心とした森林や田園など四季折々の美しい自然環境を守り、その自然を活かした農林水産業や、自然を体験・体感する観光業などの産業が栄え、デジタルの力も使いながら、自然の中で学び、暮らし続けることを魅力とするまちをめざします。

また、人口が少ないからこそ、様々なことに挑戦できる可能性が広がり、町民一人一人が主役となって活躍し、次世代や未来につながる持続可能なまちをめざします。

4 重点方針と関連施策

基本方針

太田川とともに、暮らし、学び、未来に向けて一人一人が活躍するまち

重点方針

関連施策

①人口減少の抑制（社会増をめざす）

- 1 住環境整備による暮らしやすさの向上
- 2 新生「道の駅 来夢とごうち」を核とした観光まちづくりの推進
- 3 あんしん・子育てParkあきおたの実現
- 4 生活サポートの仕組みづくりによるコミュニティの維持
- 5 太田川の自然と調和した快適な環境づくり

②人づくりの推進

- 1 新・教育大綱の具体化と「森のようちえん」構想の推進
- 2 地域資源を活かした産業の担い手育成
- 3 広島県立加計高等学校の支援
- 4 いつまでも元気で暮らすための健康づくり活動の推進

③DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- 1 morica（もりか）の活用推進
- 2 公共交通の利便性向上と持続可能性の確保
- 3 ICT活用による「学び」の充実

・「第3期安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（策定：令和7年3月、計画期間：令和7年度～令和10年度）では、具体的な施策としてサイクルツーリズムやインフラツーリズム等を挙げている。

① 新生「道の駅 来夢とごうち」を核とした観光まちづくりの推進

「道の駅 来夢とごうち」再整備事業に併せて、体験型観光等の内容を充実させ、観光客の増加をめざすとともに、産直市の活性化や地域特産品の生産・開発支援により産業の振興と雇用の促進を図ります。

KPI 観光消費額《現状》11.9億円 ⇒ 《令和10年度目標》13.6億円

【主な事業】

- 「道の駅 来夢とごうち」再整備事業
- 地域特産品生産・開発支援
- 農産物の集出荷体制の確立
- 町内観光地への誘客
- 「地域商社あきおた（DMO法人）」事業の推進
- 加計スマートICフルインター化
- サイクルツーリズムの推進

② 太田川の自然と調和した快適な環境づくり

太田川の清流復活をめざした取組を開始し、河川氾濫等の災害対策に配慮しつつ、本町の魅力向上と、住民の本町への誇りを育みます。

KPI 太田川の水質レベル《現状》A ⇒ 《令和10年度目標》AA

【主な事業】

- 河川・里山環境の保全
- 衛生的な排水処理の推進
- インフラツーリズム・湖面利用の推進

※水質レベル基準

類型	水素イオン濃度 (PH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数
AA	6.5以上 8.5以下	1mg/ℓ 以下	25mg/ℓ 以下	7.5mg/ℓ 以上	20CFU/ 100mg以下
A	6.5以上 8.5以下	2mg/ℓ 以下	25mg/ℓ 以下	7.5mg/ℓ 以上	300CFU/ 100mg以下

② 新・教育大綱の具体化と「森のようちえん」構想の推進

本町の子どもたちが、好奇心にあふれ、豊かな感性と自分で考える力を備えることができるよう、令和6（2024）年7月に策定した新たな教育大綱の内容の具体化を進めます。とりわけ、森のようちえん構想の実現に取り組めます。

KPI ひろしま自然保育認証取得数《現状》0園所 ⇒ 《令和10年度目標》全園所（4園所）

【主な事業】

- 森のようちえん事業の推進
- 自然を活かした体験活動

③ 地域資源を活かした産業の担い手育成

本町の約9割を占める森林や農地を活かした第一次産業の担い手について、積極的に支援を行い、育成に努めます。また、森林セラピーやウォーターアクティビティ、サイクリング等の新たな観光の担い手とガイド等の育成に取り組めます。

KPI 農林業従事者数（独自小規模出荷農業者・認定農業者等・林業従事者）
《現状》93人 ⇒ 《令和10年度目標》127人

【主な事業】






- 林業従事者育成
- 観光ガイド（森林セラピスト、体験ガイド含む）育成
- 多様な担い手農家の育成
- 特定地域づくり協働組合運営支援
- 起業・事業継承の支援

自治体（安芸太田町）の方針

・「第2次広島県自転車活用推進計画」（策定：令和4年12月、計画期間：令和4年～令和7年度）にて、サイクリングのモデルルートとして安芸太田町を含む「やまがたロングサイクルコース」が設定され、その中で、「太田川交流館かけはし」にサイクリングスタンドが設置されている。

・また、令和7年6月には瀬戸内地域やその周辺地域を世界に誇るサイクリングの推進エリアとするため、自治体、国、経済連合会等で構成するSetouchi Vélo協議会8回目のミーティングが安芸太田町で開催されるなど、サイクリングの機運が高まっている。

（3）やまがたロングサイクルコース

概要	広島県の北西部・やまがた地域をぐるっとまわるロングサイクルコース。大自然を感じるとともに、道の駅で地元ならではの料理も楽しめる。
通過市町	広島県安芸太田町、北広島町
協議会等	やまがたサイクルツーリズム推進協議会
快適な自転車走行環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○備品購入・設置 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングスタンド（アルミ） <ul style="list-style-type: none"> 芸北高原の自然館、太田川交流館かけはし、いこいの村、アザレア千代田など 8 箇所 ・サイクリングスタンド（木製） <ul style="list-style-type: none"> 芸北オークガーデン、イニミニマノモなど 4 箇所 ・空気つき <ul style="list-style-type: none"> 芸北オークガーデン、太田川交流館かけはしなど 6 箇所 ○施設整備 移動式誘導看板（冬季除雪のための撤去可能看板）を 6 箇所設置し誘導をスムーズにした。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">（サイクルスタンド） （移動式誘導看板）</p>
サイクルツーリズム推進のための取組	<p>取組状況</p> <ol style="list-style-type: none"> ① サイクルランドイベント開催（参加者 89 名、完走者 82 名）、 ② サイクリングマップの発行（20,000 部）、 ③ マップ周遊キャンペーンの実施、 ④ 旅行商品販売に先立つモニターツアーの実施、 ⑤ 周辺市町のとの広域連携 <p>今後の取組</p> <ol style="list-style-type: none"> ① サイクルイベントの民営開催化、 ② サイクリングガイドの育成、 ③ 体験型旅行商品の造成・販売、 ④ 初心者向けのサイクリングコースの設定 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>FunRide2018 in やまがたサイクルランド</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>モニターツアー</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">周遊キャンペーン サイクリングマップ</p>

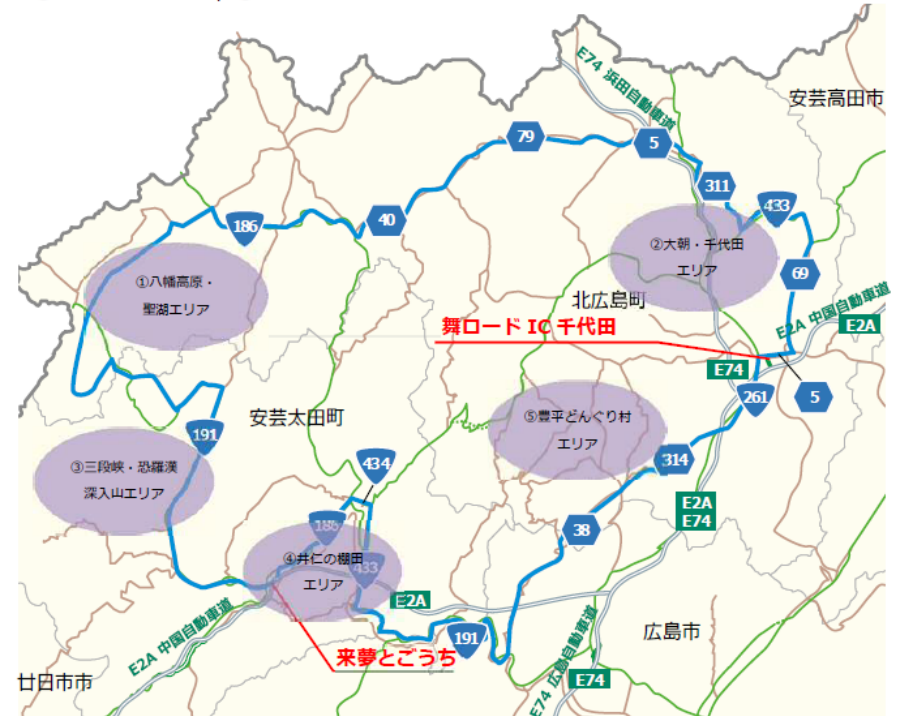
<ルート図>

・やまがたロングサイクルコース：

道の駅「来夢とごうち」（安芸太田町）、道の駅「舞ロード IC 千代田」（北広島町）を巡るコース 144km

・そのほか次のエリア内に個別コースを設定

- ① 八幡高原・聖湖エリア、② 大朝・千代田エリア、③ 三段峡・恐羅漢深入山エリア
- ④ 井仁の棚田エリア、⑤ 豊平どんぐり村エリア



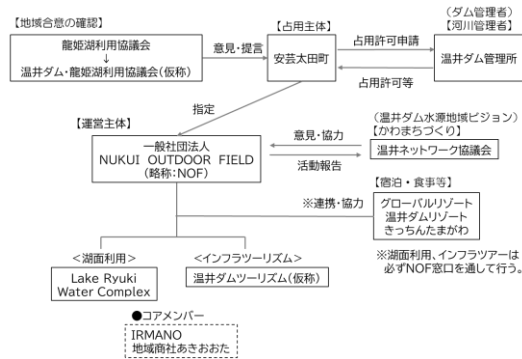
地域での利活用・整備ニーズ（温井地区）

インフラツーリズムの推進

・温井ダムは太田川の支川滝山川の中流部に建設された太田川水系初の多目的ダムであり、アーチ式ダムとしては黒部ダムに次ぐ国内第2位の高さを誇る。日本ダムアワード放流賞も受賞した大迫力の放流にはファンも多く、放流時は多くの見学者が県内外から訪れる。

・令和6年には『インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト』に中国地方で初めて選定。それを受け、安芸太田町では温井ダムの特色を生かし、地域と連携した持続可能な体制づくりを行い、ダム見学ツアーやウォーターアクティビティを核とした新たな観光拠点づくりを推進している。

・令和8年からは、堤体エリアのオープン化に向け、インフラツーリズムの社会実験の本格実施を予定しており、ツアーコンテンツの造成やガイドの育成等を進める。



温井ダムインフラツーリズム 管理運営スキーム (案)

(一社) NUKUI OUTDOOR FIELD

龍姫湖の湖面と温井ダム周辺環境の魅力的な地域資源や人材を生かして、エリア一帯の活性化や事業者間連携に取り組むことを目的に設立。



NUKUI OUTDOOR FIELD
ツーリストセンター
(令和8年4月オープン予定)



ホームページ

インフラツーリズム社会実験(R7.10.19)

・令和7年10月19日に行われた「龍姫湖まつり」では『温井ダム放流スペクタクルツアー第一弾』と題し、インフラツーリズム試行ツアーを実施。

・ツアー内容、ガイドの説明、料金ともに、参加者の高い満足度が得られた。

【ツアーの概要】

- ・右岸下流広場、常用洪水吐キャットウォークからの放流見学
- ・1回10人(高校生以上)、1時間、ツアーガイド2名、料金一人3千円



コンジットゲート操作室
キャットウォークから放流見学



右岸下流広場での放流見学

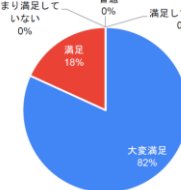


発電・利水の説明

【参加者数】

- ・10月17日(試行テストツアー)11名(太田川、弥栄ダム、河川部)
- ・10月19日AM(試行ツアー)5名(予約8名、キャンセル3名)
- ・10月19日PM(試行ツアー)7名(予約10名、キャンセル3名)
- (参考)10月19日PM(団体ツアー)18名(山陽新聞社)

Q8. ツアー全体(時間・料金を含む)の満足度



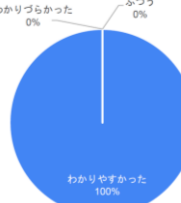
Q9. 見学内容



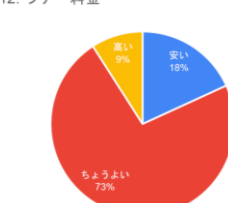
有効回答数11人

有効回答数11人

Q10. ガイドについて



Q12. ツアー料金



有効回答数11人

有効回答数11人

Q16. 今後、温井ダムや龍姫湖周辺でどのようなイベントがあれば参加したいですか？(主な意見)

- ・放流イベント・見学会
- ・放流ゲートの間近まで行けるツアーがあれば参加したいです
- ・太郎さんとここに入れて欲しいです
- ・温井ダムの普段行けないところを行ってみたい



治水太郎
(中位標高放流設備に設置)

地域での利活用・整備ニーズ（温井地区）

湖面の利活用

- 『ダム湖100選』にも選ばれている龍姫湖では、令和4年に湖面を活用した社会実験が開始されたことに伴い、龍姫湖の有効活用、自然環境保全、事故発生時の迅速な対応、地域の連携強化を目的に「龍姫湖利用協議会」を設立。
- 令和7年から湖面のオープン化が本格的にスタートし、ウェイクボードやカヤック、SUP等のウォーターアクティビティが行われている。



Lake Ryuki Water Complex

龍姫湖でウェイクサーフィン、カヤック・カヌー、SUPなどのアクティビティ体験を提供。



ホームページ



例年秋に開催される龍姫湖まつりでも、ウォーターアクティビティ体験を実施。

温井ダムかわまちづくりワークショップ

- 温井地区のかわまちづくりに関するワークショップを開催
- 安全に水辺に近づけるように親水護岸、湖岸へのアプローチ可能な施設（スロープ、階段）を求める意見や、半島の遊歩道の整備等を求める意見が挙げられた。

【実施概要】

日時：令和7年8月28日（木） 14:20～17:00

場所：温井ダム管理所 3階 大会議室

○議事次第

1. 開会
2. 温井ダムと地域のかかわりヒアリング
3. 温井ダムおよびその周辺の活性化と利活用に向けたグループ討議
4. 全体での意見交換
5. 閉会

○参加者

地縁団体温井徳行会、温井自治会、PUBz WAKESURF、グローバルリゾート温井、地域商社あきおた、温井ダム管理所、安芸太田町産業観光課、安芸太田町道の駅推進チーム、前温井ダム管理所長

○温井ダムエリアの良いところ、素晴らしいところ

- ・自然豊かな環境で人があまりなく喧騒から隔離されたような環境
- ・急峻な地形、立入が制限された特別な空間に入れることが利用客に喜んでもらえるポイント
- ・山に囲まれていて風も少ない上、水質がよく、水深もあるので、ウォーターアクティビティに適した環境
- ・グローバルリゾート温井は静穏な環境下にあり、健康志向の利用客に高評価を受けている

○温井ダムエリアで不足しているハード整備、ソフト整備

- ・安全に水辺に近づけるような階段工等親水護岸の整備
- ・気軽に湖畔で水遊びができるような環境整備
- ・団体客への対応が容易にできるような環境整備（例：駐車場整備）
- ・ダム下流面を使ったプロジェクションマッピングや花火などの夜間に楽しめる催し
- ・湖面利用だけでなく、水や山など自然環境に関するソフト整備

○温井ダムおよびその周辺の活性化と利活用について

（現状施設の改修・修繕）

- ・駐車場の増設
- ・温井ダム直上流に位置する半島の遊歩道の整備

（新規で整備したい施設およびアイデア）

- ・子供が水辺で遊べる場所
（湖岸に釣りスポットや子供用プール、小温井川を活用した ウォータースライダー等親水施設の整備）
- ・スロープ・階段など湖面へアプローチ可能な施設の整備
- ・ヤマメの養殖場の整備
- ・道の駅や店舗出店
- ・茶ウナキャンプ場をスタート地点とした湖面ツアー
- ・ダム放流のスケジュールに合わせたダムのライトアップの検討

地域での利活用・整備ニーズ（津浪地区）



・「ぷらっとホームつなみ」はJR可部線の廃駅を活用した交流施設で、津浪地区の住民で構成する「津浪振興会」が、アイデアを出し合い地域を盛り上げる運営を行っている。

・地元野菜の農産物直売、レストラン運営、炭火焼のあゆや鶏串の販売等を行っている。ドッグランも併設。

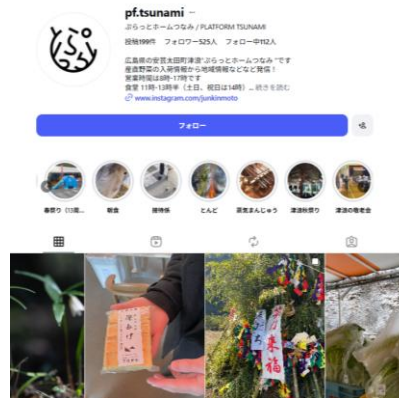
・津浪地区にはホソバナコバイモやカタクリの群生地があり、津浪振興会が草刈りなどの管理を行っており、鑑賞に多くの人々が訪れる。カタクリの花が見頃を迎える頃に、例年「ぷらっとホームつなみ春祭り」を開催、津浪地区の無形文化財「津浪太鼓踊り」や神楽も披露され、地域内外の人々にぎわう。

・夏には太田川で例年「あまごのつかみ取り」が行われ、地域内外の子どもたちが楽しむ。

・そのほかにも、秋祭りやとんど等の地域イベントが行われており、SNSでイベント等の情報発信も積極的に行われている。

・津浪地区は、地域の活性化に取り組んでいる優良な事例として、平成28年に農林水産省より『第3回ディスカバー農山漁村の宝』にも選定されており、プラットホームつなみが隣接する太田川の整備により、地域の活動の場が増え、さらなる活性化が期待できる。

<SNSでの情報発信>



ぷらっとホームつなみSNSアカウント(インスタグラム)



とんど(ぷらっとホームつなみInstagramより)



あまごのつかみ取り
(ぷらっとホームつなみInstagramより)



ぷらっとホームつなみ春祭り
(ぷらっとホームつなみInstagramより)

温井地区の整備イメージ

整備方針(湖面エリア・堤体エリア)

①親水護岸



湖面のアクティビティにも活用しやすい親水護岸を整備

②進入路(階段)



駐車場からもカヌー等の進水が可能になるように進入路(階段)を整備

④半島展望台



貯水池の眺望を確保するために展望台を整備

③小温井川



右岸と左岸を行き来できるように河川管理用通路・階段を整備

⑥ダム堤体右岸



仮設立入禁止柵では安全性に課題があるため整備

⑤ダム下流右岸広場



ダム下流右岸広場からも安全に放流見学等を実施できる環境を整備

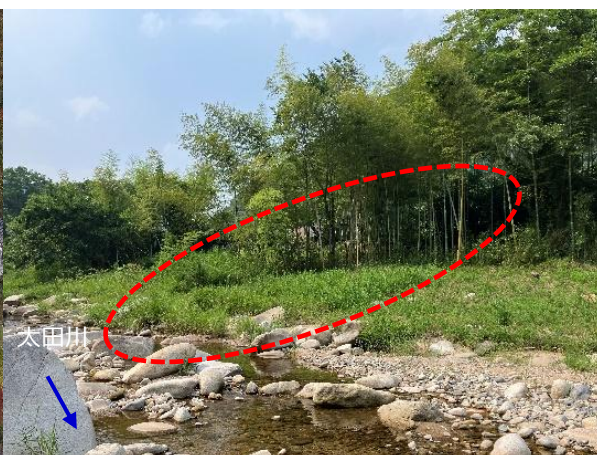
凡例

- 既設場内通路 現状通行可能(町管理)
- 既設場内通路 現状通行可能(国管理)
- 既設場内通路 現状通行不可⇒遊歩道整備(国管理)



津浪地区の整備イメージ

整備箇所	整備メニュー	現況・課題	目的・効果	利活用メニュー
①津浪地区	親水護岸 ロードバイク駐輪場 案内表示版 トイレ	ぷらっとホームつなみ(地元自治体が運営する交流施設)に隣接する箇所、太田川の利活用ニーズが高いが、河畔林が繁茂し、水辺に近づけない状況。	安全に川にアプローチできるようになり、地域の利活用促進が期待できる。	・地域のイベント ・川遊び、ウォーターアクティビティ



現況：河畔林が繁茂し、水辺に近づくことが困難な状況

水辺に近づける親水護岸や、サイクリスト等の誘引につながる駐輪場・トイレなどを整備

安芸太田町連携方策案

- ・温井地区、津浪地区、加計地区、戸河内地区が連携することで、太田川流域の新たなにぎわいを創出し、安芸太田町のさらなる魅力向上が期待される。
- ・加計スマートICのフル化により、町内の観光施設を巡る新たな周遊ルートの確保や、新たな観光スタイルとなるマイクロツーリズムが増加するなど、地域振興の活性化が期待される。



温井ダム整備イメージ

温井地区

- ・ダム湖を活用したウォーターアクティビティ
- ・インフラツーリズム (ダム見学・放流見学)
- ・ダム湖を活用したイベントの実施
- ・サイクリング拠点
- ・宿泊(ホテル・グランピング)
- ・レストラン



道の駅来夢とごうち

戸河内地区

- ・安芸太田町の西の玄関口
- ・観光案内
- ・サイクリング拠点
- ・安芸太田町の名産品販売
- ・マルシェの定期的開催
- ・レストラン、軽食販売
- ・公園



太田川交流館かけばし

加計地区

- ・観光案内
- ・交流拠点
- ・サイクリング拠点
- ・地域のイベント会場
- ・立ち寄り温泉
- ・軽食・食事処



プラットホームつなみ整備イメージ

津浪地区

- ・安芸太田町の東の玄関口
- ・サイクリング拠点
- ・交流拠点
- ・地元野菜、川魚の炭火焼き、軽食販売
- ・太田川を活用したイベントの実施
- ・環境学習・自然体験の場

意見聴取シート記入のお願い

意見様式

第1回安芸太田町かわまちづくり協議会(令和8年2月19日)

意見聴取シート

所属:	
お名前:	

1. どこでどんな川の活動がしたいですか？

2. 1. のためにどんなことができますか？また、期待していますか？

3. 安芸太田町がさらに賑わうためには、どのような「拠点間や地区間が連携した取組」があると良いと思いますか？

4. その他、会議で言い足りなかったこと、不明な点などあればご記入ください。

《送付先》

安芸太田町 道の駅推進チーム 担当:大前 電話番号 0826-28-1961 (代表)
FAX 0826-28-1218
e-mail michinoeki@akiota.jp

締め切り 令和8年2月26日(木)

かわまちづくりにおいて「やってみたい川の活動」「そのためにできること、期待していること」「拠点間の連携アイデア」などを具体的に記入しご提出をお願いします。

締め切り:令和8年2月26日(木)

提出方法:メールまたはFAX、郵送

記入例

1. どこでどんな川の活動がしたいですか？

1. 龍姫湖でカヌーや SUP の体験事業

2. ぶらっとホームつなみで川遊びイベントの開催

3. 温井ダムでインフラツアー

2. 1. のためにどんなことができますか？また、期待していますか？

1のため、安全なカヌーの乗り降りができる階段の整備を期待している

2のため、イベント準備で川の清掃ができる。水辺への階段整備を期待している。

3のため、ぶらっとホームつなみでダムツアーの情報発信ができる

3. 安芸太田町がさらに賑わうためには、どのような「拠点間や地区間が連携した取組」があると良いと思いますか？

・清流や峡谷を楽しめる町全体を周遊するツーリング・サイクリングコース

・温井ダムと津浪地区が連携した川遊びスポット巡り

・観光スポットを結ぶ水上ツアー

・各地区のイベントの同時開催 等

4. その他、会議で言い足りなかったこと、不明な点などあればご記入ください。

・既存の龍姫湖祭りを盛り上げたい